

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	看護情報システム論 Nursing Informatics			担当 教員	服部雄一（専任） 片山修（専任）	
開講年次	1年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目 看護組織学	授業形態	講義・演習	
選択必修	選 択	時間数	30時間			使用教室	情報処理室	
授業の目的及びねらい		<p>講義及び演習を通して医療情報システム・看護情報システムの役割と機能の理解を目指す。看護情報システムは、コンピュータの技術的な進歩によって急激に進展しつつある分野であるので、まずコンピュータの歴史をひもとき、看護及び保健分野での教育支援を視野に入れつつ、電子カルテや患者教育システムの設計・開発・運用を講述し、具体的な問題の演習を通じて同システムの重要性を理解させる。また時間があれば、臨床現場で医療情報システムや看護情報システムに携わっている実務者からの講義も予定している。</p>						
授業のキーワード		看護情報システム、医療情報システム、電子カルテ、患者教育システム、治療・看護支援システム						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
第1・2回	糖尿病ケアにおける IT 技術利用についての講義 糖尿病教育資源共有機構での取り組みである「糖尿病ケアの方向性」を講述し看護情報システムとの関連性を具体的に理解させる。							
第3回	医療及び看護とコンピュータの関わり コンピュータの開発の歴史と医療・看護の分野でのコンピュータ利用について事例を挙げて紹介する。							
第4回	看護及び保健分野における研究に関わる情報処理技術 マルチメディア教材によるコンピュータ支援教育(CAI)について詳述する。							
第5・6回	データベースネットワークと疫学調査についての講義 具体的な事例を用いて疫学調査の様々な問題点を理解させる。							
第7・8回	コンピュータ技術による治療・看護支援システム いわゆる IT が臨床現場でどのように活躍しているかを理解させる。							
第9・10回	患者教育システムとその評価 患者の治療・看護の一環としての患者教育システムについて理解させる。							
第11・12回	患者カルテとデータベース 糖尿病大血管障害研究会で構築した患者データベースについて講述する。							
第13回	看護及び保健分野における研究に関わる情報処理技術に関する演習 コンピュータを用いて具体的かつ実践的な問題を課す。							
第14回	看護・保健分野における研究に不可欠な WEB 上の情報処理技術に関する演習 WEB 上の検索などの技術を用いて、具体的かつ実践的な課題を課す。							
第15回	まとめ							
テキスト	なし							
参考文献	<p>(1) 糖尿病ケア IT 革命、糖尿病教育資源共有機構編、医歯薬出版、2002年 (2) 看護・医療系のための情報科学入門、医学芸術社、2009年</p>							
成績評価の方法	講義への参加態度(60%)、課題への取り組み(25%)、成果発表(15%)							
教員から学生へのメッセージ								